

# サンゴ礁生態系保全行動計画 2022-2030 の概要と今後のスケジュールについて

自然環境計画課

## 1. 「サンゴ礁生態系保全行動計画 2022-2030」の概要

サンゴ礁生態系保全行動計画は、日本のサンゴ礁生態系を守るための具体的な行動を示すための計画として、専門家、関係省庁、地方公共団体、日本サンゴ礁学会等の協力を得て、環境省が策定している計画である。令和3年度には第三期となる「サンゴ礁生態系保全行動計画 2022-2030」を策定した。計画では、2030年度までの目標を定め、目標達成に向けて関係機関が協力して取り組むべき4つの重点課題を設定し、その課題ごとに目指すべき姿と関係省庁、関係地方自治体、日本サンゴ礁学会等の各主体が取り組む具体的な活動を記載している。

特に、気候変動及びそれに伴う海洋酸性化がサンゴ礁生態系に大きな影響を与えていると指摘されていることを踏まえ、「サンゴ群集に関する科学的知見の充実と継続的モニタリング・管理の強化」を重点課題の一つとして位置づけ、そのための代表的な取組として、サンゴ礁生態系に関する先進的かつ学際的な視点での研究開発、沖縄県の石西礁湖における大規模攪乱が発生しても有効性を失わないようなサンゴ群集再生手法の確立、モニタリングサイト1000事業における情報把握の充実を明示した。

また、計画の達成状況を評価するための指標を、遅くとも2024年度までに設定することとしている。

### (1) 活動主体

国の機関	農林水産省、国土交通省
地方公共団体	東京都、和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
学術機関	日本サンゴ礁学会

### (2) 計画期間

2022年度～2030年度

### (3) 目標

将来にわたり、サンゴ礁生態系が健全な状態で維持され、その恵みを享受できる自然と共生する社会の実現を目指して、2030年度末において「サンゴ礁生態系保全に向け、広域かつ中長期的視点の取組と、地域社会と結びついた取組の実践が加速されること」を目標とする。

### (4) 重点的に取り組むべき課題

重点課題1：サンゴ群集に関する科学的知見の充実と継続的モニタリング・管理の強化

重点課題2-1：陸域から過剰に流入する赤土等の土砂及び栄養塩、化学物質等の負荷への対策の推進

重点課題2-2：サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進

重点課題2-3：地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築

## 2. 他の計画との関係

本計画は生物多様性国家戦略及び海洋基本計画に記載されているサンゴ礁関係の目標達成

のための具体的な行動計画としての位置づけである。

また上記の他、気候変動適応計画やSDGsアクションプラン等の関連する計画や、昆明・モントリオール生物多様性枠組や国連海洋科学の10年、国連生態系回復の10年用の国際的動向、さらにサンゴ礁生態系を取り巻く状況も踏まえ、適切な見直しを図ることとしている。

### 3. スケジュール

(取組/年度)

	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
FU 会議等	FU 会議 		中間評価会議	FU 会議 		中間評価会議	FU 会議 		次期計画検討会議
計画の評価・見直し			中間評価			中間評価			終了時評価・次期計画検討
指標の作成	指標案検討 		策定						
モデル事業の実施		期間・場所等の検討	開始 						